

校長講話「アンパンマンの心」

入学式から一ヶ月がたちました。「おはようございます」と子どもたちの元気な挨拶から毎日がスタートしています。5月6日(金)には、今年度初めての校長講話がテレビ放送で行われました。

今年度初めての校長講話を始めます。アンパンマンのお話です。まず、このお話を聞いてください。(「アンパンマンとマリモくん」のお話を朗読。)

さて、この場面、アンパンマンは、おなかが空いているマリモ君に自分の顔をちぎって食べさせます。アンパンマンのお話の中には、自分の顔を食べてもらって困っている人に元気を与える場面がたくさんでできます。アンパンマンの作者やなせたかしさんは、戦争を体験したことで「人間が一番うれしいこと。それは、ひとを喜ばせること」と考えるようになったそうです。お腹がすいていて死にそうな人がいれば、たとえ自分の顔であっても、パンを差し出すのです。その人が元気になるために。喜んでくれるために。「アンパンマンの心」とは、この「人を喜ばせる心」なのです。

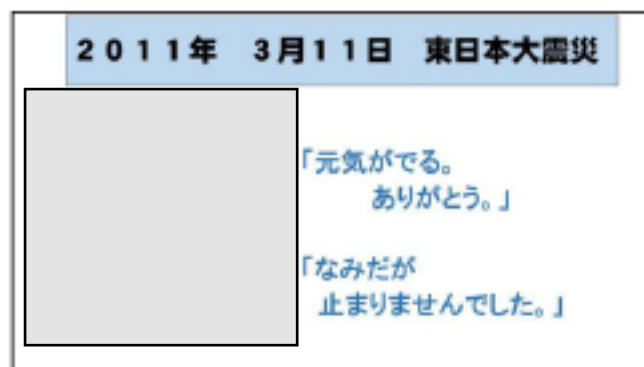
「アンパンマンのマーチ」の歌を聞いてみましょう。(アンパンのマーチの歌を聞く)

今から10年前、2011年3月11日。東日本大震災が起こりました。15000人以上の人が亡くなり、現在も2500人以上の人が行方不明となっています。大地震が起きた次の日3月12日の夜、避難所のラジオからこの「アンパンマンのマーチ」が流れます。すると、多くの人から「元気が出る。ありがとう。」「涙が止まりませんでした。」といった声が聞かれ、次の日から全国のラジオ局に、数多くのリクエストが寄せられました。「アンパンマンのマーチ」に対する人々の反応を知ったやなせたかしさんは、すぐに一枚のポスターを書き上げます。被災地に届けられたこのポスターには、「ああアンパンマン優しい君はいけみんなの夢守るため」と歌詞の一部が書かれています。この言葉で、多くの被災者の方々が勇気づけられたそうです。

豊丘南小学校には、この「アンパンマンの心＝人を喜ばせる心」がたくさんあふれています。朝、校門に立っているとみなさんが元気な声でおはようございますと挨拶してくれます。おかげで一日のスタートを気持ちよく始めることができうれしいです。これは、校長室前花壇の花の手入れをしてくれているフラワー委員会のみなさんです。きれいなパンジーに心が癒やされます。児童会活動はアンパンマンの心そのものなのかもしれませんね。先日、3・4年生が虻川の清掃をしてくれました。ふるさとの自然がきれいになって、豊丘村の方々も喜んでくださっています。みなさんの笑顔もそうです。みなさんの笑顔は、先生、お父さんお母さん、おじいさん、おばあさん、豊丘村の方々、まわりの人々を喜ばせるパワーを持っています。

令和3年度が始まりました。コロナ禍ではありますが、いや、コロナ禍だからこそ、「アンパンマンの心＝人を喜ばせる心」を大事に過ごしていきたいですね。人を悲しませる心ではなく、人を喜ばせる心です。

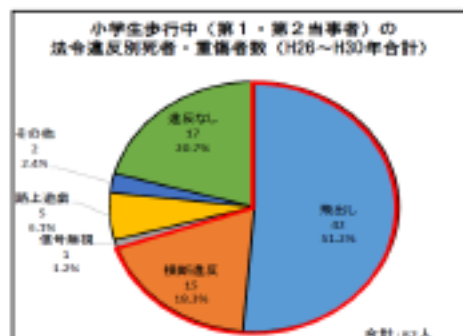
先程のポスターには「ああアンパンマン優しい君はいけみんなの夢守るため」と書かれています。ここ豊丘村では「ああ豊丘南小の子どもたち 優しい君たちはいけ みんなの夢 自分の夢まもるため」となるのでしょうか。みんなで心温まる1年にしていきましょう。



5月は交通事故に注意

右のグラフは、長野県警察本部交通企画課が「歩行中児童の交通事故の特徴について(平成26年～平成30年)」としてまとめたものです。小学生の歩行中の交通事故における死者・重傷者の51.2%が飛び出しによるものです。また、交通事故発生月別死者・重傷者数は、5月が多いこと、特に1年生の数が急激に4月から増加しています。これは、入学後緊張して登校する1年生が少しずつ慣れ始めた5月に事故の可能性が高いことを示しています。

5月7日(金)昼の放送で、このデータを紹介しながら「飛び出し注意」「5月再度の交通安全」を児童に呼びかけました。また、保育園のカンガルークラブで大切にしている「まず止まれ 車の道に飛び出さない」の標語は、「飛び出し」を防ぐための明瞭なキャッチフレーズであることを伝え、改めて自分の命は自分で守ることを確認しました。



◆お知らせ◆

・登下校中のマスク着用について

登下校中は感染症対策として引き続き原則としてマスク着用をお願いいたします。

1人で登校する場合、息苦しさを感じる場合、家族による送迎の車中はこの限りではありません。

また、夏期の気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。このため、気温・湿度や暑さ指数が高い時には、屋外で人と十分な距離を確保できる場合には、マスクを外すように指導します。お子様が自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しいと思われるので、夏期の間は積極的に声をかけるなどの指導を行います。